



©2005 石塚真一小学館

<令和6年(2024年) 10月2日>

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ 特別隊員 島崎 三步 の「山岳通信」

長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報を提供しています。

■北アルプス ツキノワグマ 出沒警報！

期間：9月9日(月)～10月14日(月)

区域：北アルプス・佐久・上伊那・木曾・北信の各地域

長野県内では、ツキノワグマの人身被害の発生・目撃件数が増加しています。このため、これまで出ていた「出沒注意報」が「出沒警報」に引き上げられました。北アルプスの登山道等でも、目撃情報が多い、寄せられています。登山の際は、クマとの接近をできるだけ避けることが重要です。そのための準備や対策を登山計画の作成段階から十分に検討するようお願いします。

【参考：ツキノワグマによる人身被害を防ぐために】

<https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/sangyo/ringyo/choju/joho/onegai/jinshin.html>

【出沒警報プレスリリース】

https://www.pref.nagano.lg.jp/shinrin/happyou/20240909kuma_press.html

■“秋山情報”を作成しました。#合言葉は無事下山

鮮やかな紅葉に包まれる秋山は、多くの登山者を魅了し、毎年、紅葉シーズンを中心に県内外から多くの登山者が信州の山々に訪れるほか、きのこ採りなど「山の幸」を求めて入山する人も数多く見られます。一方で、この時期、滑落や道迷い、低体温症、準備不足による行動不能などの山岳遭難が多発しています。秋山は周期的な晴天に恵まれやすく、気候的にも登山に適していますが、日没時刻が早く、天候もひとたび崩れると真冬並みの寒さになるなど、秋山特有のリスクがあります。“秋山情報”では、過去の遭難事例や秋山登山における注意点などを紹介します。安易な気持ちで登山することなく、最新情報の収集と事前準備を入念に行い、体調を万全にして入山しましょう！

<https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html> 長野県警察

～信州の山小屋応援・山岳遭難防止対策プロジェクト～ 信州の安全登山の推進に御支援を！



【寄付募集サイト】



■発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
9/24 火	北アルプス 北穂高岳	男	55	死亡	滑落	単独で、北穂高岳から槍ヶ岳に向けて大キレットを縦走中、滑落
9/26 木	八ヶ岳連峰 硫黄岳	女	56	負傷	転倒	単独で、横岳から硫黄岳に向けて登山中、転倒、負傷
9/28 土	北アルプス 涸沢	男	78	負傷	転倒	2人パーティで、涸沢から上高地に向け下山中、転倒、負傷
9/28 土	北アルプス 槍ヶ岳	女	64	負傷	滑落	2人パーティで、槍ヶ岳から下山中、山頂付近の鎖場で、滑落、負傷
9/28 土	佐久市志賀地 籍の山林内	男	62	死亡	不明	3人パーティできのこ採り中、行方不明(9月29日発見)

■長野県警 山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス！

先週、長野県内では、5件の山岳遭難が発生しました。

9月28日に涸沢で発生した山岳遭難は、2人パーティで涸沢から横尾方面へ下山中に、転倒して頭部を負傷し、救助要請があったものです。

長野県では、滑落等のリスクの高い山域を【山岳ヘルメット着用奨励山域】と指定し、ヘルメットの着用を呼びかけています。今回、転倒遭難が発生した場所は、涸沢から横尾の間のため、奨励山域外ですが、転倒や滑落のリスクがあり、骨折等の重傷事例も多数発生しています。

そのため、

年齢 ⇒ 高齢な方に限らず、お子さんも注意！

普段のトレーニング状況 ⇒ 年齢にかかわらず運動不足の方は注意！

疲労の具合 ⇒ 登りよりも下山の方が筋肉への負担が大！、

【山岳ヘルメット着用奨励山域】以外でも、ヘルメットを着用して秋山登山を楽しみましょう。

■令和6年(2024年)中の山岳遭難発生状況

令和6年(2024年)1月1日～9月29日

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和6年	261	39	1	122	122	284	162
内)単独登山	91	17	1	36	37	91	54
令和5年	245	29	3	135	103	270	167
内)単独登山	89	13	0	45	31	89	58
前年同期比	+16	+10	-2	-13	+19	+14	-5
内)単独登山	+2	+4	+1	-9	+6	+2	-4

■山域別発生状況 令和6年(2024年)1月1日～9月29日

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	54	20.7%	10	1	28	21	60
	後立山	53	20.3%	9	0	22	29	60
	その他	29	11.1%	3	0	12	18	33
	計	136	52.1%	22	1	62	68	153
中央アルプス	21	8.0%	3	0	9	11	23	
南アルプス	4	1.5%	0	0	4	0	4	
八ヶ岳連峰	47	18.0%	5	0	24	19	48	
その他の山岳	53	20.3%	9	0	23	24	56	
計	261		39	1	122	122	284	

■態様別発生状況 令和6年(2024年)1月1日～9月29日

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	77	29.5%	22	0	57	0	79
転倒	57	21.8%	0	0	57	0	57
病気	13	5.0%	5	0	0	8	13
道迷い	34	13.0%	0	0	0	40	40
落石	3	1.1%	0	0	4	0	4
雪崩	5	1.9%	2	0	2	3	7
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	41	15.7%	3	0	0	41	44
不明・他	31	11.9%	7	1	2	30	40
計	261		39	1	122	122	284

■男女別・年齢別比率 令和6年(2024年)1月1日～9月29日

区分	男性					(人)	女					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	2	4	6	41 20.4%	0	0	1	1	2	9 10.8%	8	50 17.6%
20代	2	0	6	9	17		1	0	1	3	5		22	
30代	5	0	3	10	18		0	0	1	1	2		20	
40代	5	0	8	8	21	78 38.8%	0	0	5	6	11	37 44.6%	32	115 40.5%
50代	9	0	25	23	57		2	0	15	9	26		83	
60代	7	1	22	14	44	82 40.8%	0	0	15	6	21	37 44.6%	65	119 41.9%
70以上	8	0	10	20	38		0	0	8	8	16		54	
計	36	1	76	88	201		3	0	46	34	83		284	
比率	70.8%						29.2%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光スポーツ部山岳高原観光課」までお寄せください。
mt-tourism@pref.nagano.lg.jp

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会